

1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	TGB173A	異文化コミュニケーション I A		
科目名 (コード)	TGB173	異文化コミュニケーション I A		
対象学科	グローバルビジネス学科		配当学年	1年生
対象コース	GB1		単位数	2単位30
授業担当者	渋谷里美		時間数	
成績評価教員	渋谷里美		講義期間	春期
実務者教員			履修区分	選択必修
実務者教員特記欄				講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	就職活動に必要なSPI対策・面接対策・エントリーシート作成ができるようになる。特に過去の自分・現在の自分・未来の自分を分析することで、より良い就職活動を行い社会人生活につなげる。
全体の内容と概要	SPI対策と面接で聞かれることを記述しながら、面接の練習準備とエントリーシート作成の練習を行っていく。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	配布したプリントはファイルしておくこと。自身の考えを他者に伝え、聞くために積極的に授業に参加する姿勢が必要である。期末試験として自己PRの発表を実施する予定。出席が2/3以上の場合

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	SPIとは何かを理解する 数学の基本をおさらいする	ガイダンス（年間授業スケジュール） 目標設定
2	損益の計算方法を理解する 自己分析①	①四則計算 ②少数の計算 ③分数の計算 ④割合 自己分析①
3	演習問題を解き理解度を確認する 自己分析②	演習問題 記述練習：自己の個性を考える・書く、シャドーイング
4	損益について理解する 自己分析③	①損益算 記述演習：自己PRを考える・書く、シャドーイング
5	自己分析④	発表練習：自己PR（発表）
6	料金の割引計算を理解する 異文化理解① 各国の年中行事	②料金の割引 調べ学習：各国の年中行事についてまとめる、シャドーイング
7	分割払いの計算を理解する 異文化理解② 各国の年中行事を	③分割払い 調べ学習：各国の年中行事について具体的に調べてまとめる、シャドーイン
8	代金の精算について理解する 異文化理解③ 各国の年中行事を	④代金の精算 調べ学習：各国の年中行事についてまとめる
9	異文化理解④	発表練習：各国の年中行事についてまとめる→発表する・他国の文化について学ぶ
10	速さの計算を理解する 年中行事①	⑤速さ 調べ学習：日本の年中行事の概要や特徴を理解する、シャドーイング
11	表の読み取りを理解する 年中行事②	⑥表の読み取り 調べ学習：日本の年中行事をとりあげて特徴を調べる、シャドーイング
12	集計表を読み分析できるようになる	⑦集計表 調べ学習：日本の年中行事をとりあげて特徴を調べる、シャドーイング
13	前期の授業内容総括 年中行事④	前期の内容をまとめる 発表練習：日本の年中行事の概要や特徴を理解する→発表する（みんなに紹
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	SPI基礎からはじめる問題集
参考文献・資料等	学生手帳
備考	就職活動に必要な読解力や書く力を身につけるために、漢字や語彙の復習をいれることがあります。